

令和6年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

南区六つ川西地区 活動報告

六つ川西小学校

六つ川西保育園・よこはま風の遊育園

推進内容



「子どもと教職員の情報交換を通して、発達の連続性を図る。」

【実態】

- 小学校への不安感
- 連携の希薄さ
- 体育でやったことのないものに参加できない児童がいる。
- 相手意識や思いをもって人と関わることが少ない。



【今年度の内容】

- 交流する機会を増やし、小学校の環境を知る。
- 1年生の生活科を通して、自分の思いをもったり、伝えたりする経験を重ねる。
- 5年生の総合的な学習を通して、次年度の6年生と新入生（ペア学年）との交流を深める。

活動内容

5年生×年長

1年生×年長

事業名	日時	内容
第1回推進委員会	5月13日	年間計画について テーマ「園から小への円滑な接続と保育・教育の質の向上を目指して～カリキュラム・マネジメントの共有と発達の連続性を図る～」検討
交流会準備(5年生)	9月9日	5年生が交流会・クイズラリーの準備のため、保育園職員にインタビュー
保育参観	9月9日	小学校職員が保育園で保育参観 次年度入学予定者について情報交換
交流会(5年生)①	9月26日	保育園交流 5年生が自己紹介や遊びを考え、保育園の隣の公園で交流を行った。
小学校授業参観	10月3日	保育園職員が小学校の授業を参観 総合的な学習の時間で、5年生と保育園児との交流の在り方について助言してもらう。
交流会(1年生)①	10月22日	保育園交流 生活科「あきのおもちゃづくり」で制作したおもちゃを保育園児に遊んでもらいたいという思いで実施。
交流会(1年生)②	11月5日	保育園交流 1回目の反省を生かし、より分かりやすく、より楽しく遊んでもらえるように取り組んだ。
交流会(5年生)②	12月16日	保育園交流 5年生が学校を紹介するクイズや、交流する遊びを考え、小学校で交流を行った。
情報交換	2月中旬～	保育園、幼稚園ほか 来年度就学予定者についての引き継ぎ
第3回推進委員会	2月下旬	年間振り返り 次年度計画
交流会④	2月下旬	学校職員が保育園を訪問 小学生が作成した学校紹介動画をプレゼント
物品購入		各園に必要な道具を渡す

交流会準備（5年生）

園児たちのことを知り、交流会やクイズラリーの内容に必要な情報を得る。

4丁目公園での交流に向けて、遊びの種類や数、遊びの条件（安全、かんたんなルール、時間設定）について聞くことができました。



交流会（5年生）①

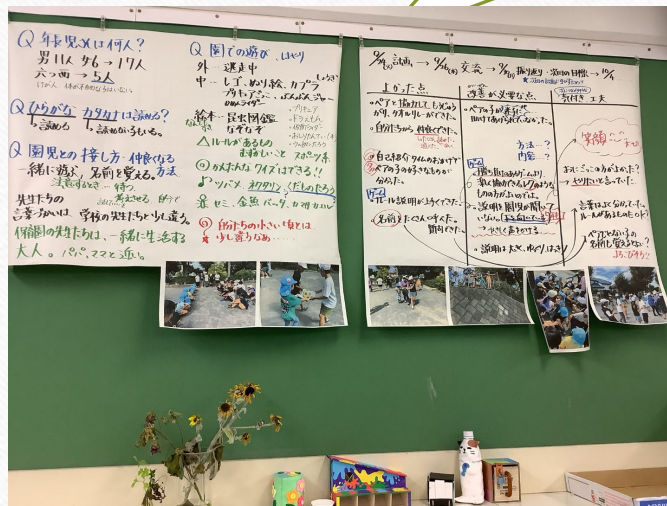
タオルリレー
は、協力でき
て楽しいね！

よろしくお願
いします！



小学校授業参観

次回の交流会の詳しい内容と方法を決めよう。



保育園の保育士に参観していただき、子どもたちが話し合っていることに関してアドバイスをいただきました。

交流会（1年生）①

ようこそ！六つ川西小学校へ！
楽しんでいてください！



こういうふうには遊
ぶんだよ！



1年生としても初めての交流でした。自分たちの作ったおもちゃを楽しんでもらおうとがんばりました。

交流会（1年生）②

パワーアップした秋のおもち
ちゃを楽しんでください！



こうやって遊ぶ
んだよ！



1回目よりもっ
と上手に説明し
たいな！



交流会（5年生）②

これまでの活動で決めたことをもとに、しっかり交流していこう！

ここは何の教室か、わかるかな？



4月に待ってるね！



次年度に向けて

- ・歓迎のチューリップを植えて、4月に向けて育てる。
- ・新入生向けの学校紹介動画を撮影し、保育園へプレゼントする。
- ・新入生の情報交換を行う。
- ・新6年生によるR7年度一年生を迎える会の立案、企画、運営
- ・今年度の交流を生かしたペア学年活動

成果



- ・昨年度に比べ、年長の子ども達が学校の様子を知る機会が増えた。
- ・小学生が企画・進行をしたが、回を重ねるごとにスムーズな流れになっていった。
- ・1年生との交流だけでなく、高学年との交流は保育者の仲立ちが最小限で済み、子ども同士の仲が深まったように感じた。
- ・生活科、総合的な学習の時間で交流ができた。対話が増えたことで、相手意識や目的意識を明確にもって活動したり、関わったりする様子が見られるようになった。
- ・1年生が2年生になることへの期待感をもったり、お兄さんお姉さんになったことを自覚したりすることができた。

課題

- ・今年度は5年生の総合的な学習の時間で取り組んだが、同様の取組を来年度以降どのように設定していくか。
- ・学校行事や天候の影響で、なかなか交流日が設定しづらい面があった。見通しをもって、計画を立て、年間を通した交流ができるように設定したい。
- ・小学校の年間カリキュラムの中で、どの教科、どの単元で子どもたちが目的意識をもった交流ができるか確認していく必要がある。